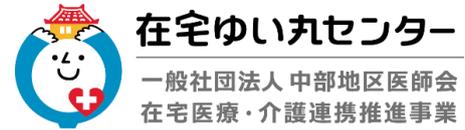


## 急変時対応多職種研修会 アンケート集計結果報告書



日時：令和7年3月11日（火）19：00～21：00

開催場所：会場結婚式場 N.B.C（沖縄市胡屋6-12-1）

テーマ：「事例を通して考える 段階に応じたACPと多職種連携～その人が、その人らしく、いられるために～」

周知方法：開催案内文書の郵送、当センターHP掲載、メーリングリスト一斉送信

周知範囲：中部地区12市町村の医療介護関係施設、消防本部（約1,789か所）

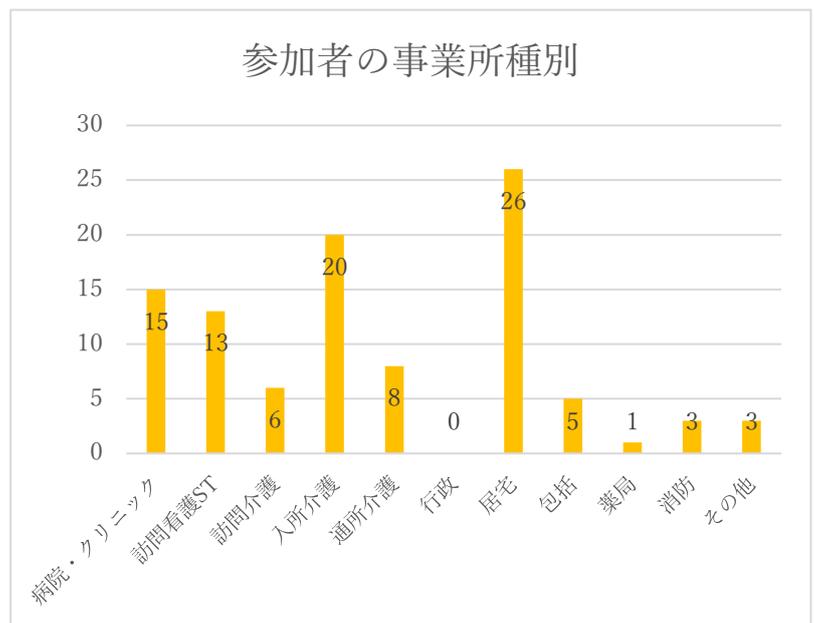
### ●参加者数

会場 参加人数：120名 アンケート回答数：100名（会場回答率：約83%）

トータル参加人数 120名  
アンケート回答率：83%

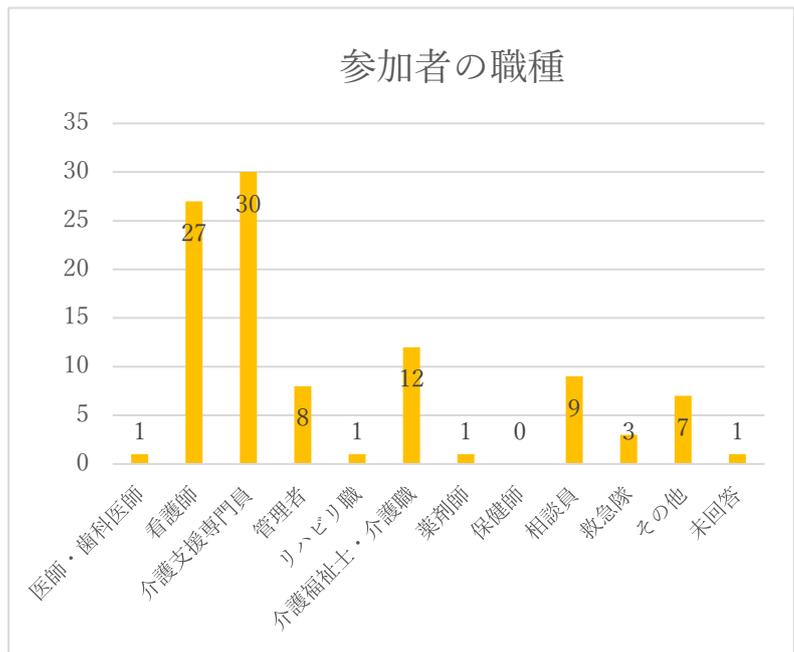
### ●参加者の事業所種別（n=100）

	数	割合
病院・クリニック	15	15.0%
訪問看護ST	13	13.0%
訪問介護	6	6.0%
入所介護	20	20.0%
通所介護	8	8.0%
行政	0	0.0%
居宅	26	26.0%
包括	5	5.0%
薬局	1	1.0%
消防	3	3.0%
その他	3	3.0%
計	100	100.0%



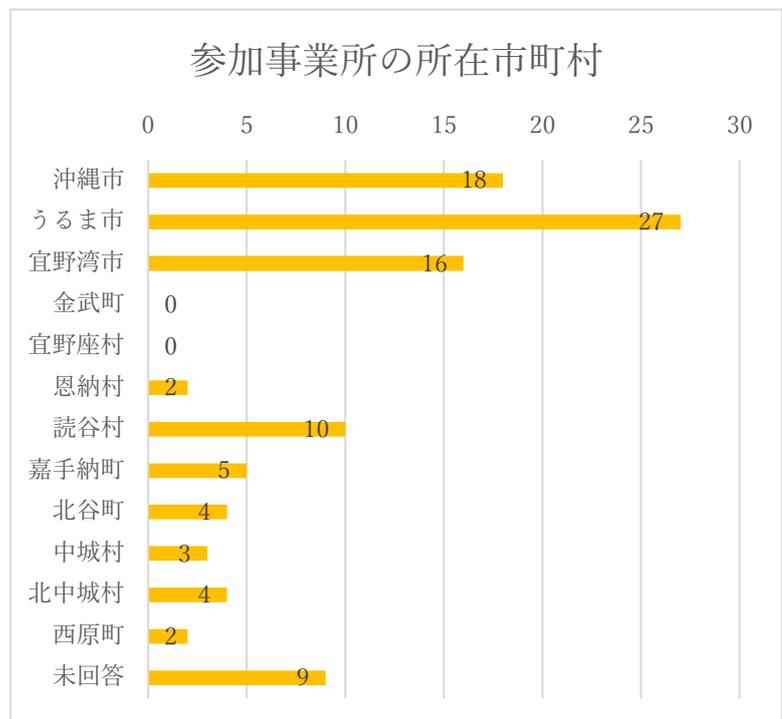
●参加者の職種 (n=100)

	数	割合
医師・歯科医師	1	1.0%
看護師	27	27.0%
介護支援専門員	30	30.0%
管理者	8	8.0%
リハビリ職	1	1.0%
介護福祉士・介護職	12	12.0%
薬剤師	1	1.0%
保健師	0	0.0%
相談員	9	9.0%
救急隊	3	3.0%
その他	7	7.0%
未回答	1	1.0%
計	100	100.0%



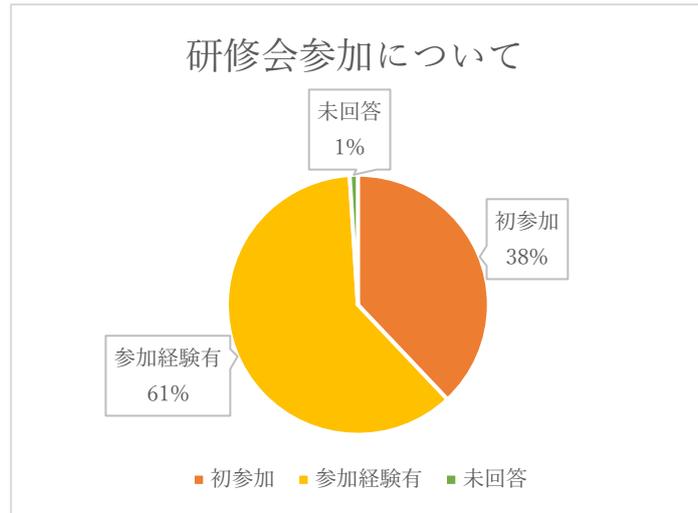
●参加事業所の所在市町村 (n=100)

	数	割合
沖縄市	18	18.0%
うるま市	27	27.0%
宜野湾市	16	16.0%
金武町	0	0.0%
宜野座村	0	0.0%
恩納村	2	2.0%
読谷村	10	10.0%
嘉手納町	5	5.0%
北谷町	4	4.0%
中城村	3	3.0%
北中城村	4	4.0%
西原町	2	2.0%
未回答	9	9.0%
計	100	100.0%



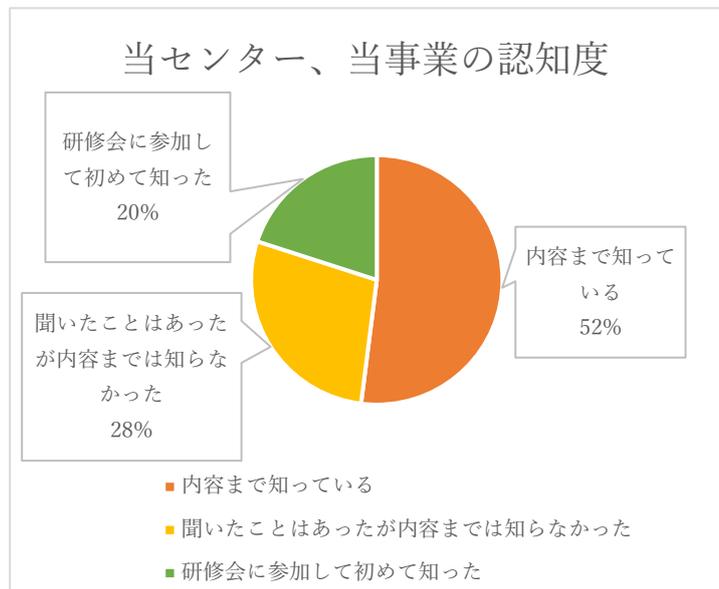
●研修会への参加について (n=100)

	数	割合
初めて参加した	38	38.0%
参加したことがある	61	61.0%
未回答	1	1.0%
計	100	100.0%



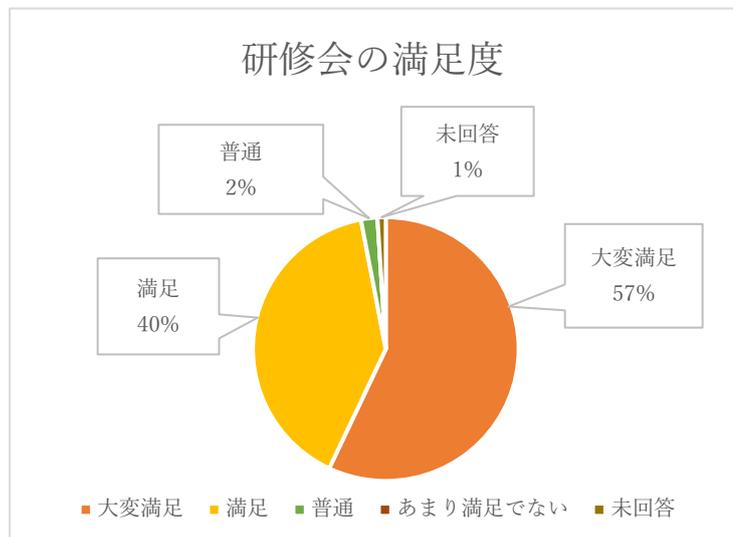
●当センター、当事業の認知度 (n=100)

	数	割合
内容まで知っている	52	52.0%
聞いたことはあったが 内容までは知らなかった	28	28.0%
研修会に参加して初めて 知った	20	20.0%
計	100	100.0%



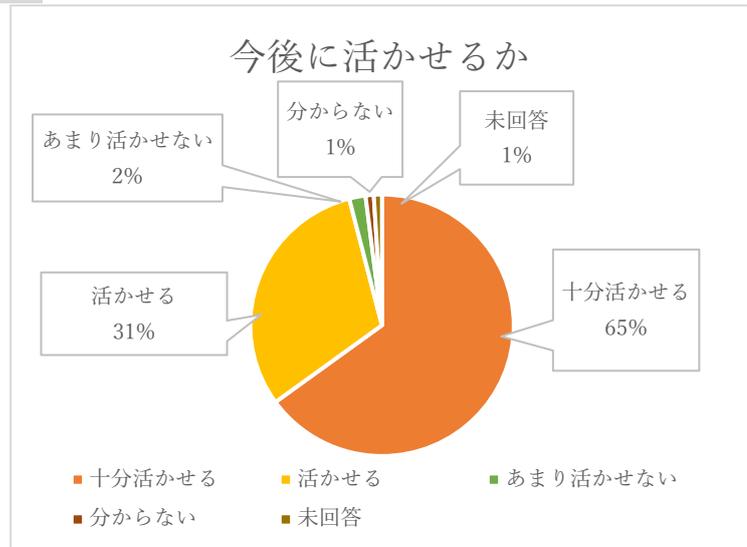
●研修会の満足度 (n=100)

	数	割合
大変満足	57	57.0%
満足	40	40.0%
普通	2	2.0%
あまり満足でない	0	0.0%
未回答	1	1.0%
計	100	100.0%



●今後の業務に活かせるか (n=100)

	数	割合
十分活かせる	65	65.0%
活かせる	31	31.0%
あまり活かせない	2	2.0%
分からない	1	1.0%
未回答	1	1.0%
計	100	100.0%



●記述式アンケート結果

【当研修会の感想】

1	事前に ACP 意見確認の重要性が学びました。
2	研修会の内容が良かった
3	今後の利用者様の幸福のために今回活かした研修を支援につなげていきたいです。
4	さまざまな人の話を聞いてとてもよかったです。
5	なるべく多くの救急隊員のこの内容を共有したいと思った。次回からはもっと多くの救急隊員が参加するよう周知していきたい。
6	地域支援者との連携を大事にして ACP のきっかけを広げて意思決定につなげたいと思いました。
7	いろいろな職種とのグループワークはブラッシュアップできた。グループワーク後の登壇発表の方法が良かった。
8	見過ごし易い出来事 of 発言が多い中でいかに気づいてつなぐ事が出来るのか、考えさせられました。
9	段階に応じた ACP 明日の仕事から活かします。
10	色んなタイミングで本人家族に ACP を確認し、その人らしい最期につなげていきたい。ありがとうございました。
11	この様な研修会は多職種の意見交換ができるキッカケとなり、今後にかせると思う。
12	多職種が参加しており、それぞれの現場での課題、全体を通しての課題を知る事が出来ました。
13	多職種連携の大切さをあらためて実感しました。自分に何が出来るのかを見直すきっかけとなりました。
14	利用者、家族のその時々での対応で多職種連携をしてきたいと思いました。
15	看取りについて多職種の情報の共有などの重要性が大事だという事を知りました。
16	各立場での課題、共通した課題を再認識しました。県などの行政にリードしていただき、情報共有システムの整備が早急に必要を感じます。(健康保険や介護保険の被保番どちらでもアクセスできる等、使いやすいシステムへ)

17	有意義な時間で様々な意見があって勉強になりました。明日からの業務に活かしていきます。
18	いろんな多職種の声が聞けるのは日々の仕事の参考になります。
19	急変時の対応に関しては、多職種での役割が大切だとあらためて感じました。
20	それぞれの職種からの視点を聴くことができ大変よかった。
21	救急の現状を聞くことができ良かったです。
22	グループワーク、事例検討する事で、利用者様の気持ちに寄り添った思いを家族に伝える場やタイミング、サービスへの介入のタイミング等、多職種の連携の大切さをあらためて勉強になりました。
23	何度やっても良いと思います。
24	普段、救急現場で関わる職種ではあるが、なかなかこういった場がなかったのでいい機会になりました。
25	多職種の方との情報交換で色々な視点から ACP について検討する事が出来るのだと感じました。
26	とても参考になり、今日参加して良かったです。今後もこのような研修あれば参加したいです。
27	良かったです。消防の方も交えて意見交換をした。
28	グループワーク→登壇者発表 いつもと逆のプログラムで良かったと思います。途中中休みがあったので、集中力が少し良くなった。
29	とても実りのある研修でした。救急医師、訪問診療医師、介護現場の立場からの声がきけたことは今後のアクションにつなげていきたいと思えました。ありがとうございました。
30	視野が広がりました。言葉の引き出しが増えていった気がします。
31	その時々での共有の重要性を感じた。
32	ACP はシリーズ化して欲しい。
33	多職種で話し合いの場は色々な視点がみえてくる。ケアマネのかたよった考えにならなくてよい為とても参考になります。
34	事例発表とかあれば良い。
35	今回のようなテーマは何度やってもためになると思いました。
36	多職種からの立場や介入方法等いろいろな意見があって連携の必要性を学ぶことができました。
37	ACP について多くの意見を聞く事が出来てとても学びになりました。
38	多職種で話す機会があり勉強になりました。
39	いろんな立場から考え方が聞けました。自分ではあまり気づかない事を気づかせてもらいました。
40	とても学びになりました。ACP の大切さ、多職種連携の大切さを再確認することができました。
41	施設でも勉強会をしてみたいです。
42	他職種との連携、情報共有とても良かったです。現場で生かしていきます。
43	看護職だけでなく、訪問歯科衛生士など、多職種の視点から ACP や緊急時の対応を知ることができた。
44	訪問診療を行っている Dr、救急医の話がきけてよかった。

45	利用者の ACP に自分も携わっている事を認識するよい機会になりました。その事を意識しながら、明日から仕事に取り組みたいと思います。ありがとうございました。
46	最期の拍手の大きさ勢いがもの語っていました。
47	ふだん関わることない方々とお話しでき、良かったです。
48	グループワークで色々な考えを聞いたので勉強になりました。日頃から ACP ピース、意識して支援していきたいです。
49	様々な職種の方々からそれぞれの立場、目線からの御意見が聞いた、勉強になりました。
50	多職種の方々に関わりがもて、勉強になった。
51	ACP の必要性について再確認できたので、FA や多職種との連携を組めに行っていきたいです。
52	地域の多職種と意見交換ができて良かった。
53	大きな学びになりました。職場に持ち帰って共有します。
54	現状を知る。他職種の考えを知る。とても大事で聞ける機会がとても次につながる。
55	ふだん会えない消防の方の話が聞いて良かったです。

#### 【開催して欲しいテーマや、その他ご要望】

1	倫理的指向
2	地域の市民の方にも研修の機会もってほしいです。
3	BCP、災害、感染症
4	介入に関して、工夫していること。(ケア等)
5	認知症の方が安心して過ごせるまちづくりについて、多職種でどうとらえ考えていけるか。
6	ACP 介入の実際、在宅、病院、施設 etc
7	身寄りのない人の支援体制構築に向けて
8	情報提供後・情報提供にあたって、電子カルテの事があるが、どこまで進化しているのか、どう活用しているのかを知りたいです。
9	多職種連携の具体策の研修を受けたい
10	施設経営者向けの入所者の ACP 確認の大切さの研修
11	「多職種」で1つのテーマを考えるとというテーマは今後も継続できれば今後につながると思いました。現場の生の声は何より勉強になります。本日はありがとうございました。
12	身よりなしの支援、ぜひ行政も交えて。
13	多職種との関りの大切さのテーマで研修を開催してほしいです。よろしくお願いします。
14	障がい福祉サービスとの関り
15	病院と施設、訪問看護との看看連携方法、課題。
16	引き続き急変時対応を行いながら、内容の情報発信(特に家族)を出来る「何か」があれば良いと思いました。(You Tube のアニメもとても良いです。)
17	また ACP についての研修、おねがいします。1人1人の人生を支えるための情報共有システムの整備、すすめてほしいです。
18	今年度も看とり支援の研修を開いてもらいたい。
19	救急での付き添いについて

## ●結果、考察

人生の最終段階における医療やケアに関する本人の意思が尊重されるよう、段階に応じた ACP の確認、各関係機関との連携の重要性、“介護施設等における在宅・救急連携の基本的な心得”の周知を図る事を目的に本研修を開催した。

今回、会場のみで開催であったが、120 名もの医療・介護関係者および救急隊の参加があり、急変時対応というテーマに対する関心の高さが伺えた。特に、高齢者施設（入所・通所）の方の参加が他テーマ研修会より多く、過去の同テーマ研修会よりも多かった。

各テーブルには、沖縄県介護支援専門員協会へ協力を仰ぎ、ファシリテーターを配置した事で短い時間の中でグループワークをスムーズに進める事ができた。

アンケート結果から、「大変満足」「満足」と回答した方が 97%、今後の業務に活かせると回答した方が 96%おり、満足度の高い研修内容であった事が分かった。また、「事前に ACP 意見確認の重要性が学べた」「各立場での課題、共通した課題を再認識できた」「急変時の場面では多職種での役割が大切だと改めて感じた」等、多くの感想をいただく事ができ、本研修の目的は達成できたと考える。

当センターとして、登壇者の皆様の発表やグループワーク発表、参加者からの研修会の感想や会場の盛り上がりから、高齢者支援における急変時対応の多職種連携の重要性を改めて実感する事ができた。今後も多職種研修会を含めた当事業の様々な活動を通して連携支援に励みたい。

＼研修関係者の皆さん／



＼会場の様子／



＼グループワークの様子／



●各グループアクションプラン（明日からやる事！） ※一部抜粋

ケアマネ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初回利用時のケアプラン作成に活かしていく</li> <li>・在宅で生活できる手順の整備、地域への ACP 普及活動</li> <li>・話題をふくらませる話術。本人の気持ちを聞き出す。</li> <li>・本人の ACP を確認していく、共有がスムーズにできるようデジタル化</li> <li>・ACP はどの場合でも聞くチャンスがあると思って関わる。各職種からの話を拾って共有していきたい。</li> <li>・ケアプラン作成時に記入。面談等にて ACP について広げていく。連携を広げる。</li> <li>・元気なうちに ACP を聞く、記録する、共有する。良い人生の為に！</li> <li>・本人の気持ちを大事にしたい（家族から聞きかち）</li> <li>・施設との関わりを深めたい</li> <li>・人生会議の話をする時の言葉の引き出しは、場面が変わると心もかわる。予測して話す。</li> </ul>
訪問看護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の ACP 意思決定支援をより良いものにできるような関わりをする</li> <li>・ACP の聞きとりを記録にどう残していても、他の記録にうもれるので、記録の残し方を工夫するにはどうしたらいいか、事業所内で話し合いたい。</li> <li>・ケアマネや施設職員とのやりとりが多い。家族や患者さんともっと関わりたい。</li> <li>・施設、医師等々、ACP について介入できる方々の話をきいて連携したい。</li> </ul>
ヘルパー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看取りに関して、本人によりそいながら、本人と家族だけでなく、多職種のつながりを再確認</li> </ul>
介護士 通所・入所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人の意思確認、連絡先の確認</li> <li>・多職種（ケアマネ、ナース）お互いの業務、職種の違いを理解して歩みよる。</li> <li>・各職種の役割ある。共有が出来ていない部分もある。本人の思いを重要視していきたい。</li> <li>・デイサービスが日々のやりがい、生きがいになるようスキルアップ</li> <li>・訪問系サービスとの関わりを通して多職種との ACP について踏み込みたい。</li> </ul>
看護師	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人がどう過ごしたいか、コミュニケーションの取り方、情報、声のかけ方</li> <li>・他職種の方と連携がもっとスムーズに行えるよう、自分に何が出来るのか見直そうと思いました。</li> <li>・「聞く」を意識したい。医療者としてのエゴではなく、本人、家族が思っている事を聞きたいと思う。一緒に考えていきたい。</li> <li>・家族と面談が多い。その際に今後のこと、ACP 等について聞き出す。会議できっかけを引き出す。</li> <li>・明日から外来、入院の患者へ ACP のききとりをして多職種につないでいけるようにする。</li> </ul>
デイ看護師	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の声をきいたり、送迎時に家族の声をきいて、つなげる役割。</li> </ul>
包括	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気なうちから、本人との話、訪問診療へつなげるタイミング</li> <li>・利用者の方向性を考える際に多職種の意見を取り入れたい。</li> </ul>
施設相談員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設入ったあとの関わり方について心がける</li> <li>・家族、ケアマネ等と一番に関わる立場として、場面毎のスタートで動く。</li> </ul>
MSW	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ACP をすすめられる、他職種連携を細やかにできる MSW を目指します</li> <li>・スタッフ、本人、家族、コミュニケーション</li> <li>・他職種連携が少ない方々について少しでも ACP 広げたい。</li> </ul>
歯科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他職種との話し合いをしっかりと進めていきます。</li> <li>・自分ができる事、自分の歯でごはんをいつでも食べられるようにお手伝いしていきたいと思いました。</li> </ul>
薬剤師	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時系列を共有することで、取りこぼしなく経過できる。施設の中で起きていることも、家族にも共有することの大切さ。</li> </ul>